



クラスの様子【1月号】



ひよこ・りすぐみ 今月の目標

身の回りのできることを自分でしようとする。

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

12月は、みかん狩りやクリスマス会など季節の行事に少し参加しました。また、天気の良い日はお散歩や西の広場、ランチルーム、室内と、4つの活動に分かれて過ごしました。その中で「いれて」「どうぞ」「あそぼ」など言葉のやりとりや、友だち同士の関わりも増えてきました。手を繋いで歩いたり、お友達のまねをしてみたり、小さいお友達に対しておもちゃを貸してあげたり、泣いている子の頭をなでてあげたりと微笑ましい場面もたくさん見ることができました。

生活面では、午後のおやつの手洗いをした後、自分のタオルを畳んでカバンにしまったり、食べた後、おしぼりをケースに入れてカバンにしまうなどの帰りの準備や、靴や衣服の着脱など一人でできることが増えるように少しずつ始めています。

できないところは手助けをしながら、がんばっている姿を見守っていきたいと思います。(早川)



うさぎぐみ 今月の目標

絵本などのお話に興味を持ち、ごっこ遊びや表現あそびに楽しんで取り組む。

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく願い致します。

12月に入り気温もぐっと下がり、体調を崩す子も増えてきています。風邪予防として、“手洗いうがいをしっかりする”“よく遊んでよく食べてよく寝る”“気温によって衣服を調節する”など子どもたちにも繰り返し伝えていきます。食事では、子どもたちも「黄色げんきっずはごはんやな」「お肉は赤げんきっず！」と関心を持って話している様子があったり、苦手なものも少しずつ食べてみようとするようになってきています。引き続き、毎日の給食でげんきっずをしていき、食に関心を持っていけるようにしていきたいと思います。

12月の製作では、折り紙を三角や四角に折ってクリスマスツリーを作りました。三角に折るのは初めてだったので、うまく指先を動かさず苦戦している子もいましたが自分なりに一生懸命折ることができていました。また指先を使う経験ができるよう、折り紙もしていければと思います。折り紙で作ったクリスマスツリーに飾りつけをしていくと、1人ひとりこだわって貼る様子があり、それぞれ違ったクリスマスツリーが完成しました。(平塚)



幼児棟 今月の目標

自分の思いや考えを伝えながら、友だちと一緒に一つの遊びを進めていく楽しさを味わう。冬の自然事象や気候に関心を持ち、関わろうとする。

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

12月は急に冬の寒さが到来し、吹く風がとても冷たく、園庭の木々もいろいろな色の葉っぱが風邪で舞い落ち、冬の姿に変身しています。子ども達は葉っぱの色の変化に気づいたり、落ち葉の山に座ってみたり、手の平いっぱい集めて落ち葉のシャワーにしたりといろいろな関わり方をして楽しんでいました。

そうした体験の中の実感や心は心を動かし、豊かな感性を作り出していくのだと思います。

子ども達の遊んでいる所を見ると、いろいろな場面で我慢をしながらやりたいこととの折り合いをつけながら自分をコントロールしていることがあります。うまく感情を抑え、コントロールできることもあります。子どもによってはまだそれがうまくできなくて泣いて訴えることもあります。この葛藤は子ども達にとって必要なことで、生きていく力につながっていくとても大切な事だと思います。

12月から朝登園したら、大きなホワイトボードにその日の活動を選んで自分の顔写真マグネットを貼っていますが、1人ひとりがはっきりと「今日は〇〇がしたい！」と自分の意志で自己決定をしています。マグネットを動かすことで、その日の活動の意識づけができていくように思います。一日の中で活動もそうですが、生活の中で自分の思いを言葉で伝えたり、自分で判断し自己決定することの連続です。

先日、西の広場の雲梯に挑戦する年中の女の子が数人いました。Nちゃんは何度も何度も落ちそうになりながらも、身体を左右に振っては前に進むことを繰り返していました。そのうちに周りの子が「ガンバレ・・・Nちゃんガンバレ！」と応援し始めました。するとNちゃんもガンバレコールに心が動いたのか、必死で一つ一つ前に進み、最後まで行くことができました。「やったー。すごい！Nちゃん。頑張ったね」の大人の声とともに「すごい。すごい。」と自分の事のように喜び、その場を共有していました。その時間の共有がとても心地よく、子ども達の育ちを改めて感じた時間でした。

また、2月には大きな行事「生活発表会」があります。各年齢ともに発表会に向けて少しずつ取り組んでいます。一人ひとりが自分のやりたい役を自分で決めるという体験をします。やりたいと決めたことを自分でやってみることで、自分を知る経験にもなっていくのだと思います。子ども達が自分で感じて、考えて、決めることを大切に保育をしていきたいと思っています。(市川)

